

大学総合研究センターについて

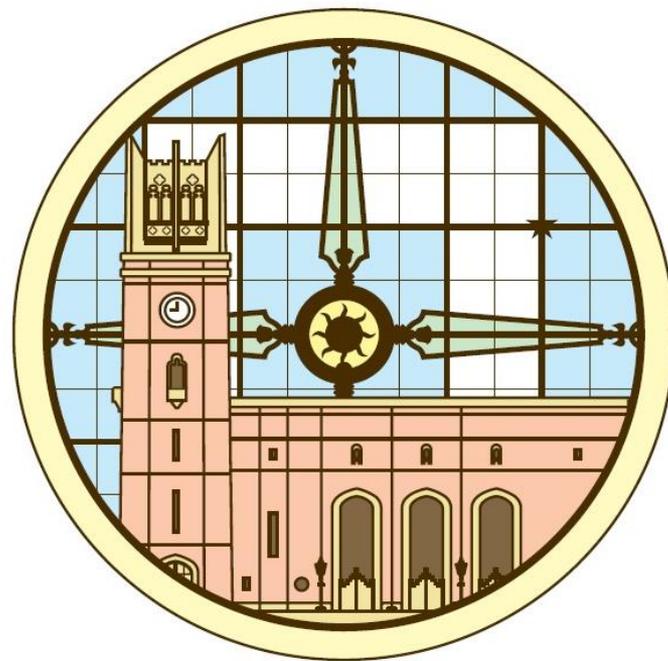


早稲田大学 大学総合研究センター
Center for Higher Education Studies, Waseda University

1. 大学総合研究センターのミッション

教育、研究、経営。大学のあるべき将来の姿をデザインします。

早稲田大学 大学総合研究センターは、本学の教育、研究、経営の質的向上に資する自律的・持続的な大学改革を推進するために2014年2月に設置されました。大学の理念に基づき、高等教育に関する研究およびIR、教育手法の研究・開発・普及促進とその実践を支援しています。これらを達成するため、高等教育研究部門(CHEIR)、教育方法研究開発部門(CTLT)の二つの部門を設ける他、2025年2月より、早稲田大学創立150周年記念事業を推進することを目的として、新たに全学研究教育連携部門(CCRE)を設置しました。



2. 大総研の事業



【Waseda Vision 150の関連核心戦略】

- 核心戦略2
グローバルリーダー育成のための教育体系再構築
- 核心戦略3
教育と学修内容の公開
- 核心戦略4
対話型、問題発見・解決型教育への移行
- 核心戦略5
大学の教育・研究への積極的な学生参画の推進
- 核心戦略12
進化する大学の仕組みの創設

3. 運営体制

所長：長崎 潤一
(文学学術院教授)

高等教育研究部門 (CHEIR)

○副所長：吉田 文
(教育・総合科学学術院教授)

副所長：濱中 淳子
(教育・総合科学学術院教授)

鳥居 朋子 教授

山田 寛邦 講師 (任期付)

武藤 浩子
次席研究員 (研究院講師)

教育方法研究開発部門 (CTLT)

○副所長：森田 裕介
(人間科学学術院教授)

副所長：中村 英俊
(政治経済学術院教授)

井上 史子 教授

阿部 真由美 講師 (任期付)

藤川 希美 助手

全学研究教育連携部門 (CCRE)

副所長：河村 耕平
(政治経済学術院教授)

副所長：石川 竜一郎
(国際学術院教授)

札野 順 教授

○：部門長

事務所

事務長1名、専任職員 (本属) 4名、専任職員 (兼務) 1名、嘱託職員 2名

4. 兼任センター員・招へい研究員

研究プロジェクト等名	氏名（所属・資格）
DCC	山名 早人（早稲田大学理事、理工学術院 教授）
学術・研究公正	天野 嘉春（理工学術院 教授） 山本 聡美（文学学術院 教授） 綾部 広則（理工学術院 教授） 赤尾 健一（社会科学総合学術院 教授） 横野 恵（社会科学総合学術院 准教授）
VRの教育への展開研究	山名 早人（早稲田大学理事、理工学術院 教授） 佐野 友紀（人間科学学術院 教授） 杉森 絵里子（人間科学学術院 准教授） 林 雅子（非常勤講師、東北大学准教授）
部門付	原田 哲男（教育・総合科学学術院 教授） ドーラン ダニエル（商学学術院 教授）

5. 事業1—FD(Faculty Development) ～授業支援～

2020年4月に開設したCTLT(Center for Teaching, Learning and Technology)では、教育・学修支援ならびにIT利用支援のワンストップサービスを提供しています。

【サービス概要】

- ① Waseda Moodle (LMS) 利用相談
→LMSであるWaseda Moodleの授業利用支援
- ② ICTツールを用いた授業の運営相談
→ハイフレックス型授業等でのICTツールの授業利用支援
- ③ FD (Faculty Development) 支援
→教員に向けた各種研修プログラムやセミナーの開催
- ④ TA(Teaching Assistant)育成
→ワークショップ、オンデマンド研修科目の配信
- ⑤ オンデマンド授業・MOOCs(Massive Open Online Courses)についての相談
- ⑥ 教室設備・自動収録システム・遠隔接続利用相談
- ⑦ IT利用相談 など



5. 事業2ーFD ～Good Practiceの普及・展開～

学内で実践されている優れた教育実践事例の共有と普及・展開をはかるための取り組みの一環として教員表彰制度「早稲田大学ティーチングアワード」を実施し、Good Practice共有のため、担当教員に対するインタビューを公開しています。

Waseda Moodle Good Practice Case1 : インタラクティブなオンデマンド授業の実践



Waseda Moodle Good Practice Case2 : 学生のモチベーションを高める工夫



多様な視点から学ぶ「アジアの宗教と政治」

2023年度開講科目早稲田大学ティーチングアワード

総長賞受賞

対象科目：アジアの宗教と政治 (E)

受賞者：見市 達也



「アジアの宗教と政治」は、東南アジアの宗教や政治を専門とする見市先生が担当する大学院生対象の授業である。修士課程の1年目の学生が多く受講し、研究の基礎を固める場となっている。授業では、東アジアから東南アジアの国家と宗教の関係を多角的に分析し、それを理論的に理解することを目的としている。毎週異なるテーマを設定し、国家と宗教の問題を掘り下げる。ナショナリズム、ジェンダー、民主主義、暴力といったテーマごとに、事前にビデオ講義を視聴し、指定された論文を読んだうえで、対面授業に臨むという形式で進められる。

この授業の特徴の一つは、幅広い理論的枠組みを用いながら、具体的な国ごとの事例を分析する点にある。各国の状況を比較しながら議論することで、学生は宗教と政治の関係の普遍的な構造や、それぞれの地域特有の特徴をより深く理解することができる。

この授業は、宗教そのものを専門としない学生にも開かれている。政治学を学ぶ学生にとっても、「宗教」という要素を加えることで、より包括的な視点から国家や社会を分析できるようになるという富田がある。「国家と宗教の関係を単に事例の羅列として見るのではなく、体系的な観点で理解することが重要だ」と見市先生は述べる。

5. 事業3ーFD ～海外協定校連携プログラム/各種セミナー～

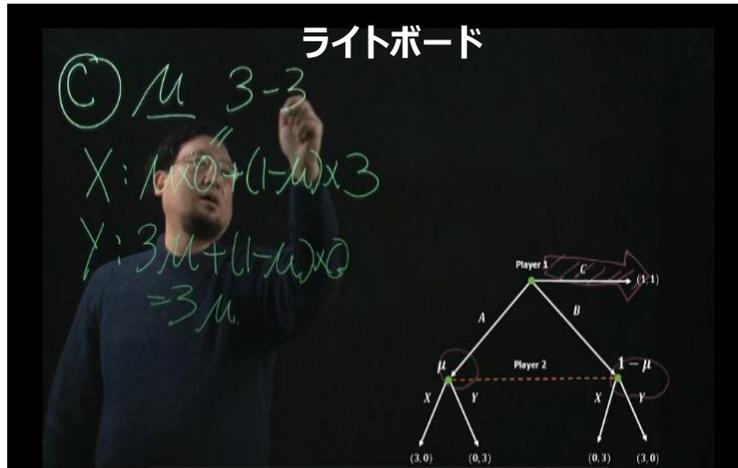
学習者中心の考え方をベースとした教授法を学内に導入すること、国際的に通用する授業運営方法を教員が習得することを目的として、海外派遣型・講師招聘型のFDプログラムを運営しています。教授法のセミナー、授業見学や現地教員とのディスカッション等を行います。派遣先は米国の[ワシントン大学](#)や[五大湖周辺私立大学連盟\(GLCA\)](#)に属する[リベラル・アーツ・カレッジ](#)です。また英国のOxford EMIが提供するEMI（英語を母語としない学生に対する英語での授業）向けのプログラムも提供しています。

また、「CTLTセミナー」「Faculty Café」「Edu Lunch」といった各種イベントを実施しており、授業改善に繋がる情報の提供や、授業におけるGood Practiceの共有を行っています。



5. 事業4—FD ～ 教育手法の研究・開発～

デジタルキャンパスコンソーシアム（通称：DCC）において、新しい教育手法につながるICTの利活用の実験を行い、新たな教育手法の研究・開発を行っています。



5. 事業5 一高等教育研究（教学マネジメント支援、教学IR）

教育の質向上、内部質保証への貢献のため、教学マネジメント支援や教学IRを推進しています。

【BIツールを活用した情報の可視化・共有事例】

【自己点検・評価にかかる支援】

■ 学内統計情報（2021年度～）

■ 自己点検・評価に関する質問フォーム運用（2022年度～）

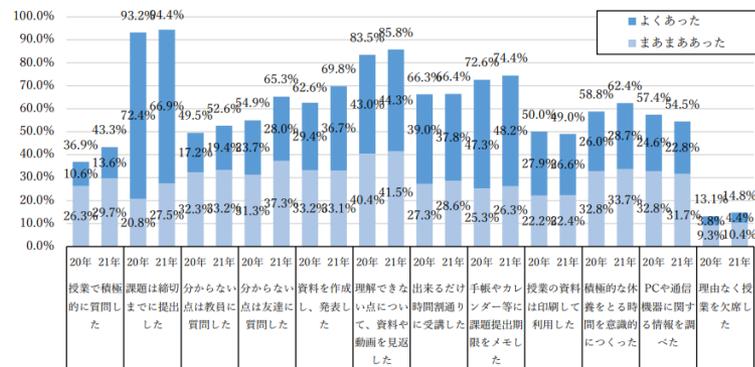


自己点検・評価に関する質問フォーム

- 各箇所からのお問い合わせをもとに、FAQの作成や学内展開する自己点検・評価に関するコンテンツ等の検討および作成を進める予定です。
- 入力内容は教務部教育企画課および大学総合研究センターに送付されます。
- 質問とその回答は、原則一覧として公開します。これまでの質問に対する回答は随時更新します。
- 入力の前に、下記のガイドブック等もご一読ください。
 - 自己点検・評価ガイドライン
 - 学修成果の可視化に関するガイドライン
 - カリキュラム・マップ作成ガイド
 - ルーブリック作成ガイド
- 基本的に匿名のフォームとなります。ただし、質問の意図等を把握したうえで回答することが望ましい場合もあると考えておりますので、教育企画課/大学総合研究センターより質問内容について確認をさせていただく場合がございます。差し支えなければ、お名前・連絡先をご入力ください。
- 本フォームに関するお問い合わせ、または教育企画課/大学総合研究センターに個別にご相談いただく場合は、[] にご連絡をお願いします。

【各種調査の実施・分析・報告】

■ 学生生活・学修行動調査（2020年度～）



* 必須

1. 質問の種類 * []

- 3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）
- 学修成果の設定
- 学修成果の可視化（アセスメントポリシー）
- 学修成果可視化後の取り組み

5. 事業6 — MOOCs

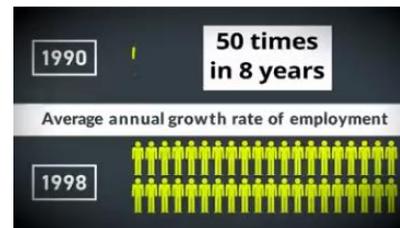
「教育と学修内容の公開」に向けた取り組みのひとつとして、MOOC(Massive Open Online Course)プラットフォームの一つであるedXにて、国内外に向けて早稲田大学の最先端の研究成果にもとづいた講義配信を行っています。

(WasedaX : <https://www.edx.org/school/wasedax>)

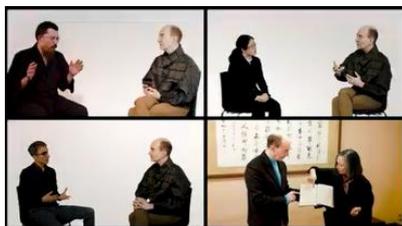
【最近制作したWasedaX講座】



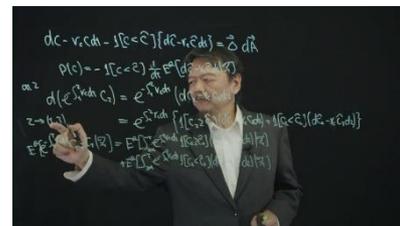
Sports Safety: A Guide to Preventing Sudden Death in Sports
(スポーツ科学部・細川 由梨先生)



The Growth of Firms and Industry Dynamics
(経営管理研究科・コアド アレックス先生)



Uncovering the Voices of Japanese Literature
(国際文学館・ロバートキャンベル先生監修)



Black-Scholes Model: For Proprietary Trading
(経営管理研究科・中里 大輔先生)

6. 刊行物・報告書

【刊行物】

- Good Practice 集
- 「対話型，問題発見・解決型教育」導入のための手引き
- CTLTガイドブック
- 100分授業のガイドライン

【報告書】

- 新入生調査
- 学生生活・学修行動調査／卒業時調査
- 卒業生調査
- アセスメント・ポリシーと学修成果の可視化の検討
- 早稲田大学の卒業生が身につけるべき資質・能力の検討 など

